

農業体験受け入れ アイターン農産

(あいたーんのうさん)

田舎でのんびりしたい人 帰る田舎がほしい人 食に関心がある人は どうぞ、いらっしゃい!

「10年以上、都会の中学生を受け入れて、田植えや稲刈りの作業を一緒にしています。人が少なく自然がいっぱいだから、多少のいたずらをして、誰にも何も言われないところがいいんでしょう。作業を通して、農業のことを理解してもらいたい。そして、汗をかいた後に、手づくりのおいしい料理を食べてほしい」と、子どもたちと農業を通して交流することを楽しみにしている、阿部さんご夫妻は言います。「ばっちゃんがたが育てている米や野菜は、自分たちが食べるから、決して体に悪い影響が出るようなものは使わない。農薬を使わず、堆肥で育てた作物は味が濃くておいしいですよ」と、お得意の山の芋鍋を手際よく調理しながらご主人の忍さん。西仙北で生まれ育った奥さんの玉枝さんは、「都会は疲れている人が多いから、ここに来て、元気になってもらいたい。家族同様、気を使わないでゆっくりしてください。田植えや稲刈りをして、疲れたらごろんとなって、おいしいものを食べてください。こちらは喜んでくれるのを見てるのがうれしいんです」と、ニコニコ笑顔で話します。



阿部さんご夫婦

秋田にほれ込んで秋田に移り住んだ都会育ちのご主人、阿部忍さんと、地元で生まれ育った玉枝さん。「都会でビルばかりに囲まれている人にのんびりしてほしい。気兼ねなく、家族のように、いつでもいらしてください」

作業を終えて、一休み。「子どもたちは教えられることがたくさんあると言ってくれるが、私たちが教えられることがあり、生きがいを持って生活できる。ありがたいことと、感謝しています」と、忍さん。



農作業のあと



かわいい子供たち

もうすぐ都会に帰っていく子どもたち。ここに来た子はみんなうちの子、どの子もみんないとおしい。



コンバイン

「子どもたちが大きくなったときに思い出してくれればいい」と、真剣にやさしく体験者を受け入れています。



稲刈り



田植え体験

5月は田植え体験。都会の人にとっては、田んぼに足を踏み入れるのも、自然の中で作業するのも新鮮な様子。足をとられて泥だらけになっても楽しそうです。



稲刈り体験

9~10月は稲刈り体験。黄金色に実った稲穂を刈り取ります。作業の後は忍さん手づくり、素材そのもののおいしさを生かした食事が待っています。



山の芋鍋

山の芋を丁寧にすりおろすと粘りが強い団子になります。しっかりとした餅のような食感の山の芋鍋。忍さん御自慢の料理です。



こ・こ・だパン

大仙市特産の無臭大豆スズサヤカを挽いた粉と米粉のパン、「こ・こ・だパン」。食物繊維がたっぷりだたんばく質もとれるので、子どもにもお年寄りにも喜ばれています。

農業体験受け入れ
アイターン農産(あいたーんのうさん)

■住所 / 大仙市土川字上雨堤145
■TEL&FAX / 0187-75-0531
体験料はお問合せください。



餅にしたとき、きめが細かく伸びがよいもち米「きぬのはだ」の生産から販売までをしています。こだわりをもって、農業を営んでいます。